



オシッコで簡単「ピーチェック！」 自宅でできるワンちゃん健康チェック

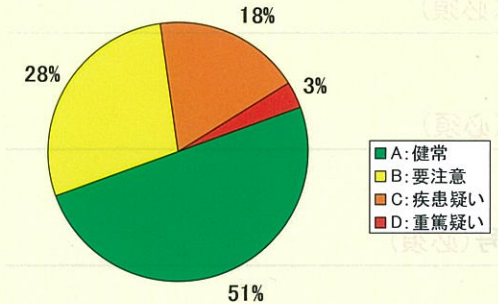


驚がくの集計結果



一般家庭の愛玩犬について「ピーチェック！」結果を集計しました。意外にも健康なワンちゃんばかりではないようです。

あなたの愛犬は大丈夫？



愛玩犬の約半数は要注意です。

ガン 後悔先に立たず。早期発見で安心の治療対策を！
犬の死亡原因No.1。尿による便利な検査が登場です。

尿石症 苦しむ前に食事と運動で予防しましょう。
命にかかわる尿石症。痛いと言えない愛犬のために。

ストレス 口に出さないけど本当は感じてるかも？
ちょっと気になる愛犬のストレス。調べておけば安心です。

ピーチェック！3つの特徴

尿検査だから痛くない！
尿を使った検査なので愛犬に針を刺すことも痛みを与えることもありません。

飼い主の“愛情”を送るだけ
飼い主様ご自身で愛犬の尿を採取します。郵送での検査だから忙しくても大丈夫。

初めての愛犬用ガン検査
難しいとされてきた犬のガン早期発見技術の開発に初めて成功しました。
(マーブル動物病院腫瘍科との共同開発)

ピーチェック！はこんなに簡単

1. 申込み

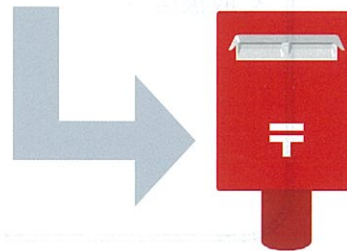
2. キット受取

3. 採尿・投函

4. 結果受取

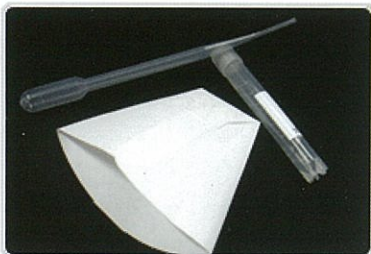


オシッコ送るだけ



あなたの愛犬は星いくつ？

☆ 採尿方法について
自信のない方でも確実に採尿できる方法をご紹介します。詳しくは簡単採尿キットに同封の説明書をご参照ください。



「ピーチェック！」結果報告書

佐藤 マロン ちゃん (6歳)
採尿日: 2008年 10月 4日

あなたの愛犬の健康度
☆☆☆☆☆

アセミン検出量

項目	判定
アセミン	C

(アセミン検査基準)
A: 良好です。B: やや基準値から外れます。C: 疾患が疑われます。D: 重大な疾患が疑われます

項目	判定	項目説明
尿pH	C	尿の酸性度を示す数値です。値域に開いて変動し、尿結石の発症リスクを高めます。
尿タンパク	A	腎臓の機能が低下すると検出されるようになります。尿の濃り度の高値でも検出されます。
尿潜血	A	腎臓や膀胱など、尿の通り道の障害を検出します。尿結石や炎症が原因と推定されます。
比重	A	腎臓で尿を濃縮する能力を示します。腎臓病や糖尿病を疑う重要な検査の指標になります。
尿糖	A	糖尿病の重要な指標になります。大量に糖分を尿中に排泄する一時的な状態と推定されます。
ケトン体	A	ケトン体の高値となります。糖尿病の診断が代わるとケトン体として尿中に排泄されます。

(検査基準) A: 良好です。B: やや基準値から外れます。C: 疾患が疑われます。D: 重大な疾患が疑われます

今回の検査では、アセミンが健康な犬に比べて高めの値でした。アセミンが検出される場合、飼い主様には見えにくいところに尿や尿臭が起きてくる可能性があるため注意が必要です。また、尿pHが高い値を示したためC判定となっています。尿pHが高くなると、尿石症のリスクが高まることが知られています。アセミンが検出されていますが、尿石症の可能性も考えられます。食事や運動に加え経過を監視し、アセミンや尿pHの値が正常にならない場合には、かかりつけの病院で診察してもらうことをお勧めします。尿結石を含むその他の疾患については、今回の検査で異常は見つけませんでした。

次回検査時期の目安: 2ヶ月以内(検査でもう2回の検査をお勧めします)

株式会社 マダボスクリン